

部活動などの活躍

《陸上部》

東京リレーカーニバル

中学男子共通走高跳 **第2位** ○○○○さん(3-2)
 中学女子共通走高跳 **第6位** ○○○○さん(3-1)



《パソコン部》

第16回毎日パソコン入力コンクール6月大会

○第6部和文B一般部門入賞

○○○○さん(2-2)

○第6部和文B高校生部門入賞

○○○○くん(3-2)、○○○○さん(3-2)、
 ○○○○くん(3-3)、○○○○さん(2-2)

○第5部和文A中学生部門入賞

○○○○さん(3-3)、○○○○さん(3-3)、○○○○くん(2-1)、○○○○くん(2-1)、
 ○○○○くん(2-1)、○○○○くん(2-2)、○○○○くん(2-2)、○○○○くん(2-3)、
 ○○○○くん(2-3)、○○○○さん(2-3)、○○○○さん(2-3)

○第2部ローマ字部門入賞

○○○○くん(1-1)、○○○○くん(1-1)、○○○○くん(1-1)、
 ○○○○さん(1-1)、○○○○くん(1-2)、○○○○くん(1-2)、
 ○○○○くん(1-2)、○○○○くん(1-5)



題字:校長 齊藤 進



学校だより
 平成28年7月
 第65号
 荒川区立南千住第二中学校

～職人考～

あらかわの伝統技術展から



ナンちゃん・ニーくん

校長 齊藤 進

7月1日から3日まであらかわの伝統技術展が総合スポーツセンターで行われました。今年で5年目となりますが、本校では午前中に1年生が地域学習の一環として南千住にある史跡文化財を巡るフィールドワークを行い、午後に伝統技術展を見学しています。毎年、見学するたびに職人の方々のワザに時間が経つのも忘れてうっとりしてしまいます。生徒も体験コーナーなどで直接、その作品や技術に触れるなど貴重な経験となりました。

キャリア教育の観点からも中学生が職人の方々のワザにふれることは意義あることだと思います。

さて、大田区の旋盤工であり直木賞候補作家となった小関智弘氏の含蓄(がんちく)ある言葉が印象に残っていますのでポイントを紹介します。



○ワザを若い人達にどう伝えたか。OJT→ON THE JOB TRAINING

○「自分を超越する職人を育てられない職人ではいけない」。だから科学技術が進歩してきた。

○「自分の道具箱を見せたがらない人の道具箱はガラクタ」。なぜなら、見せたがらない内は進歩はないから。ありったけを伝えたとき、何を獲得するかを考え、それに向かっていく。だから、次のものを獲得できるし、進歩がある。

○職人とは、ものをつくる手立てや道具をつくる工夫をする人である。

さらに次のように言います。

①基準に合っているからよいとする人。

②基準に合っているが、これでよいのかと思っている人。よりよいものをつくろうとする人。

①と②では、できあがったネジ山の美しさが違う。

本校が発行した「歩いて学ぼう南千住検定」でも職人の皆様にお世話になりました。今後も本校生徒に職人魂を伝授くだされば幸いです。

南千住マイスターのコーナー

素盞雄神社の境内は「飛鳥の杜(もり)」とも呼ばれます。それは単に樹木が生い茂っているというだけでなく、文化的にも価値のある、様々な人の思いが詰まった「杜」なのかもしれません。

素盞雄神社は、当時の文人たちが集うような場所だったといわれています。

素盞雄神社の境内は「飛鳥の杜(もり)」とも呼ばれます。それは単に樹木が生い茂っているというだけでなく、文化的にも価値のある、様々な人の思いが詰まった「杜」なのかもしれません。

素盞雄神社には「おくのほそ道」にまつわる史跡も残されています。松尾芭蕉の「矢立初めの句碑」です。「おくのほそ道」の著者は誰でもが知る松尾芭蕉であり、不世出の俳人です。芭蕉は江戸深川を船で出て、隅田川を遡り、千住で降り、長い旅のスタートをしました。芭蕉は弟子の河合曾良(そら)を伴い千住を出立したあと、日光をはじめ東北・北陸地方をめぐる岐阜の大垣まで、実に五ヶ月かけ約六百里(2400km)を旅して多くの俳句と紀行文を残しました。「夏草や 兵どもが夢のあと 早泉」閑さや岩にしみ入る 蟬の声(立石寺)などは特に有名でよく知られた句です。

この千住の地で、おくのほそ道の一番最初に詠んだ句が、素盞雄神社の境内の句碑にもある「ゆく春や 鳥啼き魚の目は泪」。これが矢立はじめの句です。芭蕉のこの長旅にける思いが込められた一句といえます。この句碑は、儒学者で書家の「亀田鵬斎(かめたほうさじ)」が銘文を刻み、俳人で画家の「建部粟兆(たけべ そうちょう)」が座像を彫ったもので、1820(文政3)年の芭蕉忌に建立されました。あの「おくのほそ道」のスタート地点が素盞雄神社なのです。現在境内にある句碑はその2代目です。

芭蕉の句碑以外にも、旗本の池田家が主治医の死を悼み建立した「森昌庵追慕の碑」などもあります。この碑は「江戸名所図会」の挿絵などでも知られる長谷川雪且や俳人で随筆家の加藤雀庵らが関わっています。つまり千住宿そして素盞雄神社は、当時の文人たちが集うような場所だったといわれています。

南千住の史跡・文化財 第4回 『素盞雄神社』その2

素盞雄神社 芭蕉の句碑



1年生 校外学習(南千住地域学習)

7月1日(金)、1年生の校外学習が行われました。昨年は大雨で午前中の予定を変更することとなり、梅雨空を心配しましたが、今年は雨雲を吹き飛ばすほどの1年生の元気で雨に降られることもなく、午前中は**素盞雄神社**や**回向院**、**浄閑寺**、**石浜神社**、**赤レンガ塀**などの史跡や文化財を自分たちが考えたコースで、班ごとにゆっくりと巡りました。午後からは毎年、地域学習の一環として、荒川総合スポーツセンターで行われている「**あらかわの伝統技術展**」を見学しました。昼にはスポーツセンターに集合し、大体育館の2階ギャラリーでお弁当をとらせていただきました。階下で行われている伝統技術展の邪魔にならないように静かに行儀よく昼食をとる様子は先輩たちが守り通してきた南千住二中の伝統となっており、会場をお借りするスポーツセンターや伝統技術展の皆さんから高い評価をいただいています。元気いっぱいの今年の1年生も、このときばかりは、無言で物音ひとつを立てることなく、伝統技術展を眺めながらたいへん静かに食事をとることができました。143人が一堂に会して、整然と行動する姿はとても立派で、今年もお褒めの言葉をいただくことができました。

1年生はこの校外学習を通し、南千住地域の歴史的価値を再認識し、また、荒川区のたくさんの職人さんたちによる伝統的な技術を目の当たりにし、地域に対する誇りをより強めました。

円通寺にて



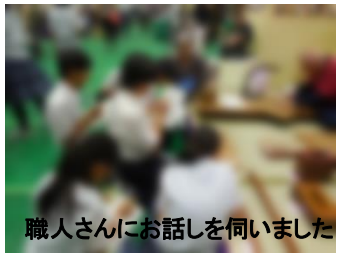
延命寺にて

看板にタブレットをかざすと動画や昔の写真が登場！

昼食風景



職人さんにお話を伺いました



三味線に挑戦！



3年生、校内地域学習で表彰！

先月行われた3年生による地域学習講座で、1年生の受講回数が多かったグループが発表され、表彰を受けました。どの講座も楽しくわかりやすく地域のことを学ぶことができた1年生に好評で、上位3チームに加え、教育委員会賞や校長賞、ユーモア賞など多くの受賞がありました。

表彰の喜びにあふれる3年生の皆さん



勤労留学の終わりにになると、すっかり職業人らしくなり、心身ともにたくましい姿を見ることができました。5日目は、お世話になった事業所の皆さんへ感謝の気持ちを手紙に託して届けました。誰にもいつかは社会に出る日が訪れます。その日を目指して、今、自分たちに求められていること、やらなければならないことは何かがわかり始めました。

お世話になった事業所の皆さん本当にありがとうございました。



ファストフード



サービスステーション



病院

ファストフード

制服姿でポーズ！



宅配便

セーフティ教室



アリーナで行われたセーフティ教室

急速な広がりを見せるスマートフォンやSNS。2016年の文部科学省の調査では、東京都の中学3年生の携帯・スマホの所有率は86.2%に上り、そのうちの34.5%は平日2時間以上利用していると言われています。そこで、7月4日(月)の1校時に開かれたセーフティ教室では、「**携帯電話、LINE等における危険性**」について、中学生の日常を再現した動画教材を全校生徒が見て、個々の課題として振り返りました。そして、SNSを安全に利用するために、全校生徒で、**4つのルール**

「**時間を決めて使用する**」「**個人情報には載せない**」「**フィルタリングをつける**」「**思いやりの心を持って利用する**」を確認しました。適切にICTを活用して、情報社会を安心・安全に生き抜くための能力と態度を身につけていきましょう。

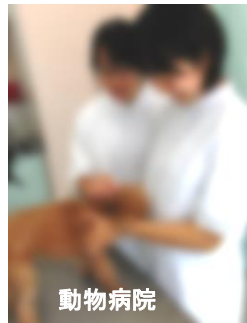
2年生 勤労留学

7月8日(金)から14日(木)までの5日間、2年生は地域の事業所や商店などへの勤労留学(職業体験学習)を行いました。今回お世話になった事業所は34ヶ所におよび、職種はファストフード店や蕎麦店などの飲食店から、パン工場などの製造業、図書館、消防署などの公共機関、コンビニエンスストアやドラッグストアなどの販売業、保育園やふれあい館などの保育施設、ディサービスなどの福祉施設、病院などの医療施設、宅配便やヘアサロンなどの運輸・サービス業まで8業種に上ります。

さかのぼることおよそ1ヶ月前。多岐にわたる事業所の求人票を見て応募し、校内での面接を受けて採用(勤労留学先)が決まりました。

1日目は、JTBの方を講師に招いて、あいさつや言葉づかい、態度などの社会マナーを学びました。その後、グループに分かれ、お世話になる職場を訪問。緊張して、あいさつの言葉がなかなか出てこない場面はあったものの、どこでも温かく迎えていただき、社会人としての小さな一歩を踏み出しました。2日目から4日目までは、2~5人程度のグループに分かれ事業所に出勤し、実際に「仕事」を体験させていただきました。お蕎麦屋さんでは、お店に立ち接客したり、蕎麦打ちや蕎麦切りをしました。動物病院では、犬や猫が落ち着いて診察を受けることができるように、やさしく安全に保定したり、保育園では保育士さんと一緒に子どもの面倒を見たり、宅配便では、あこがれの制服に身を包み、荷物の運搬や配達をしたりと、大変な中にも「仕事」のやりがいや「働く」ことの喜びを少しずつ感じ、大変多くのことを学ばせていただきました。そしてこの3日間を通して、休むことなく働き続けることが想像していた以上に苦労が多いことを知り、毎日働いている自分の家族への感謝の思いを新たにしました。

ただいま仕事中!



動物病院



スーパーマーケット



ディサービスセンター



図書館



飲食店



保育園



保育園



スーパーマーケット



パン工場

レスキュー部活動報告

幅広い場面で活躍中!



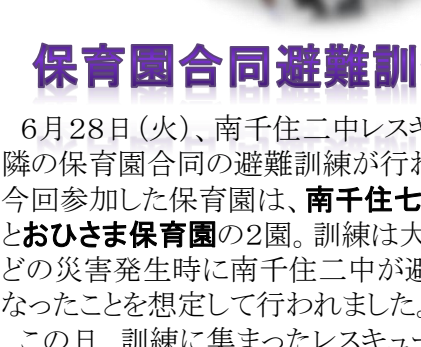
荒川消防団消防操作法大会



消防団の皆さんと記念撮影



消火活動



応急手当て

6月26日(日)、隅田川ニッソウセンターで、荒川消防団消防操作法大会が行われました。これは、荒川区内の消防団員の皆さんが日頃培ってきた防災技能を競いあう大会で、今年度はじめて南千住二中レスキュー部が参加しました。当日は、1・2年生の部員14名が参加して、消防団員から初期消火の仕方やD級ポンプの操作法、三角巾を使った応急処置や心肺蘇生の応急救護法などの説明を受けて、およそ1時間の訓練を行いました。そして消防団の競技審査の間に、レスキュー部員が「D級ポンプの操作」「傷者搬送」「傷者の手当て」などの演技を披露。大きな声で工程や安全の確認を行いながら、的確に消火作業や救護を行う姿に、会場に集まった多くの方々から賞賛の拍手をいただきました。最後に、区長さんから「将来、多くのレスキュー部員が消防団に興味を持ち、消防団員として活躍してくれることを期待しています」という言葉をいただきました。部員にとって本格的な訓練を受ける大変貴重な機会となる1日でした。

保育園合同避難訓練

6月28日(火)、南千住二中レスキュー部と近隣の保育園合同の避難訓練が行われました。今回参加した保育園は、南千住七丁目保育園とおひさま保育園の2園。訓練は大きな地震などの災害発生時に南千住二中が避難所になったことを想定して行われました。

この日、訓練に集まったレスキュー部員は89名。2チームに分かれ、それぞれの保育園に向かいました。保育園では防災ずきんをかぶった園児たちが待っていました。保育士さんと協力して、園児1人にレスキュー部員2~3人が付き添って南千住二中まで誘導しました。公道ではしっかりと手をつなぎ、園児の両側をレスキュー部員が歩いて、安全に配慮しました。途中、歌を口ずさんだり、声を掛けていくうちに、少し緊張していた園児の表情もにこやかになっていきました。

避難所となるアリーナに到着後は、折り紙やお絵書き、ボール遊びなどで一緒に遊び、園児たちとふれあう時間をつくりました。いざというときにも顔なじみのレスキュー部員がそばにいて、園児は保護者が迎えにくるまで、安心して待つことができます。最後に園児を保育園まで送り届けて訓練は終了しました。

今後も定期的に地域のさまざまな施設と連携して合同避難訓練を行い、地域の皆さんとともに防災意識を高めていきたいと思っています。



安全のため園児の両側を歩きます



お絵かきで一緒に遊ぶ



ボール遊びも!